

船小ハイブリッドパワー

— 学校と家庭を結ぶ —

校長室だより No.40

“やさしく かしく たくましく”

～ 本気と礼節の教育 ～

令和5年3月17日 文責:安生昌弘

◆ ご愛読に感謝感激

2年前の令和3年4月12日に「船小ハイブリッドパワー」創刊号を発行してから、今日で40号になりました。これが最終号になると思います。当時転入した20名の教職員への協力をお願いし、子どもたちが分かりやすい「やさしく かしく たくましく」という目標をお伝えしたのが創刊号でした。

子どもは、家庭と学校を往復しながら、その両方で育っていきます。そして、家庭で見せる顔と学校で見せる顔の違う子は、結構いるものです。ですから、家庭と学校が同じ方向を向いて子どもを育てなければ、よりよい育ちは期待できません。その一助になればと思い、学校での子どもの様子、力を入れている教育、苦戦している指導などについて、なるべく分かりやすく伝えたいと思って発行を続けてきました。

時折、子どもたちから「家の人が、うれしそうにハイブリッドパワーを読んでました。」とか「良いこと書いてあるなあと言ってました。」とか聞かされると、うれしくなったものでした。そんな言葉に背中を押されて今日の最終号まで辿り着いたように感じています。

2年間のご愛読に感謝いたします。ありがとうございました。



◆ 先生が足りません！

テレビや新聞で「教員不足！」とか「先生になりたい若者が激減！」というニュースが流されていますが、これは他人事ではありません。県内でも多くの学校で先生が足りない状況になっているのですが、船引小学校も例外ではありません。



実は今年度、4月に船小に赴任するはずの先生が1名来ませんでした。先生が足りなかったからです。臨時の先生が見つかれば、赴任することになっていましたが、3月まで、とうとう来ませんでした。そして、5年度4月からは船小に来るはずの先生が3人来ないという状況になっています。これは県の少人数教育施策（1クラスの人数を少なくする）の為の臨時の先生（講師）が全く不足しているからです。学級担任がいらないという状況は何とか回避できそうですが、余裕がないということになります。何とか力を合わせて「先生不足」を乗り越えてまいります。

保護者やお知り合いの方に教員免許をお持ちの方がいれば、講師になって学校を手伝っていただきたいと思います。中学校や高校の教員免許しかないという方でも小学校の講師になれる制度があります。また、教員免許更新制度は廃止されましたので免許の失効はありません。情報を学校までお寄せください。

学校と家庭がタッグを組み、一つ（ハイブリッド）になって2倍以上の力（パワー）で効果的に子どもたちを育てたいと願い、校長室だよりを『船小ハイブリッドパワー』と名付けました。